

まさか君が本当に来てくれるとはね

これで投資の件は…

もちろん、ヤリーロの事は私に任せなさい



たっぷり楽しませてもらおうかな？



げん

げん

げん

や、やめ……

んー おま○こひくつかせて
言っても説得力ないよ？

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

おいおい もうおま○こ
濡れ濡れじゃないか

ドキ♡ ごめんなさい……

ドキ♡

いや、褒めているんだよ？
投資の才能だけじゃなく
奉仕の才能まであったとはねえ！

あッ……ダメっ……
今動いちや……ッ！

ぐちゃ

ぐちゃ

奥を突くたびに吸い付いてくるッ
気を抜いたら出てしまうなこれは…

あッ♡

あッ♡

あッ♡

んあッ♡

特にこの辺を擦ると
アナルもヒクついて一目瞭然だ

(うう…もう私の弱い所
見つけられてる…)

パッ

パッ

パッ

パッ

ぐぽ

ぐぽ

なんだッこの腰フリは……ッ！
これじゃまるで性略奉仕部……ッ！

(だめ……おちんぽに
身体が反応して……)

それでいて決してちんぽを
離さないガチホ……ッ
私の精液もストップ高……ッ！



あまりの名器っぷりに
つい中に出してしまったよ

(やっぱり中出し気持ちいい……♡)

それじゃあ また何か
あったらいつでも助けになるよ



ケツを叩くと甘イキするね？
誰に仕込まれた？

そ、それは……

まあ答えたくないなら良いさ
だが、そうと分かったら……



おほっ いい眺めだ
前から君には目をかけていたが
正解だったようだね

.....ツ

何を黙っているんだ
せっかくいい尻だと褒めているのに――



ほら せつかくの
良いケツがもつたいない...よ!

んんッ!

おや、おやおや
もしかして君...

ポ
ン
ッ



こんな簡単に出来るがる
痴女だったとはねえ...

ふーっ♡

ふーっ♡

あッ...♡
ん...ッ♡

それじゃあ次は
私が楽しむ番だね——

んゅっ

んゅっ